

外部検証委員会（暮らし分野）次第

日時 平成 30 年 11 月 26 日（月）午後 7 時から

場所 益子町役場休憩室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

（1）概要説明（民生部長）

（2）施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

（3）その他

5 閉会

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式 2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（暮らし分野）発言要旨

日時	平成 30 年 11 月 26 日(月) 19:00～20:25	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	市川委員、上野委員、奥浦委員、高松委員、村田委員
	職員	櫻井民生部長、加藤総務課長、日下田企画課長、仁平環境課長、木村健康福祉課長、河原高齢者支援課長
	事務局	吉永係長、深谷
配布資料	次第、推進シート	

発言者	発言要旨
民生部長	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 配布資料確認 4. 案件 (1) あいさつ・概要説明 総括シートにより説明
委員	(2) 施策ごとの検証 OP.21 施策1 選ばれるまちへの転換 市貝の図書館で「益子の春」という本を借りた。内容は、陶器販売店の4人兄弟のお子さんのうち一番下の女の子が鎌倉から帰ってきて家業に携わるという話。益子を文化的で魅力あるものとして書かれており、町外の方も益子に興味を持っていたかのような内容であると思った。このように、役場からではない視点での情報発信、アプローチも良いのでは感じた。
企画課長	行政だとどうしても堅苦しい部分が前面に出てしまうと思われる。行政だけでなく町民との協働で情報発信が出来るよう、そういった方を掘り起こし、また町民大学の卒業生などにご協力をいただきながら今後も進めていきたい。
事務局	委員のご主人も町民大学卒業生として情報発信をされている。
委員	昨年度の町民大学卒業生の一部でグループを組み、フェイスブックで益子の情報発信をしている。SNSに疎い方もいたため、まずはフェイスブックの使い方から学び、コスモスまつりのライトアップ等を発信した。
委員	ましこフォト俳句もPRにつながると考えている。
企画課長	フォト俳句は歳時記のようなものとなっているので、そういった角度からも益子

	の魅力を感じて頂ければと思う。
委員	少子化も加速しているので、他の自治体がやっていないような面白いことをやるとよいのでは。転出も多いことから、子どもたちが都会の学校に進学し、そのまま戻ってこないという現状がある。就職先が限られてしまうということもあり、帰って来づらいということが課題と認識している。先ほどあった本の話のような新しい話題を取り入れていった方がよいと考える。ところで、移住相談の件数が伸びていないようだが実績はいかがか。
企画課長	役場への相談件数は減少しているが、道の駅の移住サポートセンターへの相談者数が増加している。昨年度 27 件に対し、今年度 4～9 月で 29 件と同期比では倍になり、センターの存在が認知されてきたと考えている。
委員	毎日夕方に道の駅の前を通るが、夕方でも混んでおり、予想を上回る人気スポットとなっていると思われるので、移住定住に関しても道の駅をより活用した方がよいと考える。
委員	OP.22 施策2 住み続けるまちへの飛躍 ましココハウスの来場者 3 千人は予想に比べどのようであるか。
健康福祉課長	当初の想定を大幅に超えており、オープン 1 か月で当初見込みの 1 年間分を超えている。今年は猛暑であったが施設内は空調を入れ快適に過ごせるため、夏場の利用者が増えていたのではないかと考えている。ここ最近は落ち着いている。
委員	昼間の利用者は多いが、夜の学習スペースの利用者が少ないようだ。夜間は外から机がよく見えるという指摘をしたところ、すぐにブラインド設置の対応をしていただけた。 日常的に利用されている方の声を聴いたのでお伝えしたい。赤ちゃん連れの母親からは、赤ちゃんが泣いたときスタッフがすぐ駆け寄っていただきお声掛けいただくと、少し様子を見てから対応いただければとのこと。小学生が元気に暴れているとき、スタッフが声掛けしているようなことはありがたいとのことであった。また、遊具が小さい子向けで、子供の年齢によっては合わない遊具がある。もう少し各年齢に応じた遊具も欲しいという声があった。
健康福祉課長	スタッフの対応は保護者と相談しやすい関係を築いていけるようなコンタクトをと考えているが、親子で触れ合いをしている場合にはもう少し見守るようにできると良いかもしれない。また、遊具は体験型の育脳プログラム施設として、遊具で遊ぶことがメインではなく裸足で体を使って遊ぶことを重視しているが、遊具については様子を見ながら追加の検討をしていきたい。

委員	新しい施設であるので利用者も利用の仕方がまだわからない部分があるのではないか。施設の利用に関し、年齢制限はないのか。小学生は幼児と同じ空間で遊ぶには危険もあるかと考える。
健康福祉課長	多世代交流を前提としているため、年齢制限はない。
委員	人員配置、また夜間の利用率はどうか。
健康福祉課長	8時30分～17時までは保育士である職員が対応し17時以降はシルバー人材センターへ委託している。夜間の学習室利用は周知をしているが利用はなかなかされていない状況である。高校生向けに意向調査をしたいと考えている。近年は高校生自体が公民館図書室や駅舎などで学習している姿をあまり見かけないと感じる。
委員	OP.23 施策1 豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備 ひまわり祭りは天候に恵まれて良かった。コスモス祭りは期間中は前半天候があまり良くなかったが、後半から天候に恵まれ、イベント期間終了後も来場者がいたようだった。コスモス祭りの来場者の集計結果はいかがか。
民生部長	コスモス祭りの集計結果が手元にないが、第3四半期の内容として次回検証したい。
委員	OP.24 施策2 自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発 太陽光発電の申請件数は増えていないと感じている。戸建て住宅の屋根は以前に比べ目立たず、変わって空地への設置が目立っている。
環境課長	住宅用設置件数は減少傾向にあるが、戸建て住宅は昨年度15件だったが現在10件であり、確かにメガソーラーも増えている。東京電力管内では、太陽光の接続に関し、以前は申請から接続契約が1～2か月でできたところ現在3～4か月かかっているという。
委員	OP.25 施策3 ごみの資源化・減量化の推進 現在の一日あたり、一人あたりの排出量はわかるか。
環境課長	燃えないごみは減少傾向、燃えるごみは増加傾向にある。エコステーション管内の市町で同様の傾向があるようで、大人用おむつ、剪定枝が増加している感触があるとのこと。何か一つの原因ではなく複合的な要因があると考えている。
委員	私はエコステーションへの持ち込みをすることがあるが、持ち込み件数はエコステーションに近い自治体が多いのか。

環境課長	特にそういった傾向はない。ただ、第 2 土曜日に役場で資源物回収を行っている ので、回収へのご協力とご近所の方にも周知願いたい。
委員	現在マイクロプラスチックの問題があるが、プラスチックごみは燃やした方が自 然環境にはよいのか。ポイ捨ては昔に比べて減少していると感じている。
環境課長	ゴミカレンダーの処分分類により分別して出していただけることが一番良い。ト レーなどはスーパーでも回収している。
委員	不法投棄は多いのか。
環境課長	大きく新聞に載るような事案は無いが、毎年何件かはある。
委員	外国でプラスチックストローを使用しなくなったという話を聞いたが、何か町独 自のユニークな環境対策など PR になるものをやってはいかが。
環境課長	参考にさせていただく。
OP. 26 施策 1 運動を通した健康づくりの推進	
委員	健康デーでは体脂肪測定などたくさんの方がお越しになり関心が高いと感じてい る。
委員	健幸ポイント利用者数が 500 名近くなり大幅に増加していると感じる。
健康福祉課長	スクールガードも対象としており、70～80 名が登録されている。
委員	何年か前に開催していたチャレンジデーのように全町をあげてのイベントがある と、新規の方を呼び込めると感じる。
委員	小学校等でもやっていた。ほかの町ではやっていないのか。
総務課長	芳賀町で開催した。
民生部長	5 年間やって役割を終えたと判断し、チャレンジクラブに移行した。
委員	駅伝も長く続いているので長く続ける気持ちがあれば続けられたのではないかと 感じる。
OP. 27 施策 2 食事を通した健康づくりの推進	
委員	レシピコンテストの応募が少ないと聞いている。道の駅でメニュー化されるよい

	機会であるので残念だ。
健康福祉課長	予算が少なすぎるのか、題材が難しいのか、家庭で料理をする機会がないのか検証する必要がある。
委員	<u>OP.28 施策1 高齢者のいきがいくりの推進と障がい者支援の充実</u> デマンドタクシーも定着してきている。利用者も使い方が計画的に上手になってきていると聞く。利用状況はどのくらいか。
企画課長	上半期実績で約7千人、昨年度から約1千人増加している。高齢者が買い物など外出することで健康の秘訣にもなる。
委員	ふれあいサロンの第1号が近所にあるが、一番人気は木曜日のマージャン教室である。
委員	麻雀卓は何卓くらいあるのか。
委員	4卓ほどあるが、人気で順番待ちしていたほどだった。手も頭も使うので良い。
委員	高齢化率はどの程度か。
高齢者支援課長	人口約2.2万人に対し高齢者数約6.6～6.7千人。年間100～150人ずつ増加している。要介護者（1～5）について、本町は14%であるが県平均は16%ほどであるので、平均に比べると介護認定者が少ない。
委員	新町のサロンでは女性利用者が8割くらい。また、益子でグラウンドゴルフの利用者はどの程度か。宇都宮市内の公園ではよく見かけるが益子ではあまり見かけない。
総務課長	グラウンドゴルフについてはチャレンジクラブで毎週木曜日に開催しているが、その他では南運動場、大沢本郷西などで自主的に開催されている。グラウンドゴルフは広い敷地が必要であり長いコースでは50メートルほど必要である。
委員	田野地区にはサロンが出来ていないが、欲しいという機運は高まってきているか。
高齢者支援課長	まだそこまではなっていない。道の駅ができたので野菜を作っている方は出荷するなど働く方のいきがいがあるのかもしれない。
委員	<u>OP.29 施策1 防犯・防災体制、交通安全対策の充実</u> 総務課の推進シートの9月に「事故多発により国道の道路改良を土木事務所へ要

総務課長	望」とあるが、具体的にどこか。
委員	芦沼地内の国道 294 号線で交通事故があった箇所である。
事務局	この時期は道路工事を至る所で見かけると思うが、工期が長引くことがたびたびありその原因は電柱の移動がスムーズにいかないという事だと考えている。こちらがスムーズにいくよう東京電力などに働きかけが出来ると良いのではと考えている。 (3) その他 外部検証・意見シートは、10 日程度でご提出をお願いしたい。 5. 閉会